

主題	環境改善・実践報告		
副題	環境改善でストレスすっきり！！		
環境改善			

研究期間	6か月	事業所	グループホーム白山
発表者：	平尾 明美	アドバイザー：	
共同研究者	遠藤 誠	五味 容子	

電話	(必須) 042-470-4630	メール	(任意)
FAX	(必須) 042-470-4830	URL	(任意)

今回発表の事業所やサービスの紹介	<p>グループホーム白山は東京都東久留米市の白山公園のそばにあります。2001年7月に開設された定員9名の1ユニットのグループホームです。開設12年を迎え地域の中でも「犬のいるグループホーム」として認知されています。</p>
------------------	--

《1. 実践前の状況と課題》

9名の入居者の方の平均年齢86.9歳  
 平均介護度 2.2。男性4名・女性5名。  
 1階入居者3名（うちシルバーカー使用者2名・車いす使用者1名）2階入居者6名（全員独歩）  
 平成21年4月に最後の入居者を迎える。  
 その後4年半入退所無く同じメンバーで生活をする。少人数での生活だけに、限られたスペースの中で関係性が煮詰まり、小さな衝突が目立つようになる。食事時間や活動の時間等に食堂・居間の雰囲気が険悪になり笑顔や楽しいおしゃべりの声が無くなっていく。入居者それぞれがストレスを抱え、その発散のために衝突が起こりまたそれがストレスになるという悪循環を起こしていると考えられる。

《2. 実践の目標と期待する成果・目的》  
 環境改善を行いストレスを軽減し入居者間

の関係性を良くする。食堂や居間の雰囲気が良くなり笑顔や楽しいおしゃべりが増える。

《3. 具体的な取り組みの内容》

①：対象者Aさん 83歳 男性  
 入居年数11年8か月 シルバーカー使用  
 食事時にムセあり  
 Bさん 82歳 男性  
 入居年数10年10か月 指ならしやテレビを見ながらの指摘・独語あり  
 Cさん 89歳 男性  
 入居年数4年10か月 常時車いす使用  
 右まひあり  
 Dさん 85歳 男性  
 入居年数4年 自立度が高く一人での外出可能

②：取り組みの具体的な手法  
 ・テーブル・席の配置換えを行う。

③：取り組みの時間や期間

- ・平成25年4月～9月まで 6か月

④：取り組みの手順

- ・ミーティングの場で職員の意見を聞く
- ・配置図等を用い周知する。
- ・実際に配置替えを行う。

⑤：職員数や構成

- ・職員12名

《5.まとめ、結論》

- ・席の配置替えにより食堂・居間の雰囲気は良くなったが、それぞれの心身の状況によりストレスの明らかな軽減までは出来ていない。
- ・8月に入居者1名が退所されたことによる変化もあり、人も環境の一部であると実感する。
- ・今回の実践ではハード面に注目したが今後は匂い・音・スタッフの対応などにも着目し実践を継続していきたい。